

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州山形村産長芋料理レシピ集製作及びやまっちそば普及事業
事業主体 (連絡先)	山形村観光協会 東筑摩郡山形村 2025-8 TEL0263-98-2200 FAX0263-98-4004
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業 ア特色ある観光地づくり及びイ農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,905,607 円 (うち支援金: 2,285,000 円)

事業内容

◆長芋料理研究会の継続

山形村観光協会に平成28年度に設置された長芋料理研究会(メンバー24名)により、山形村の特産である長芋の調理方法等の研究を行った。参加者は、村内飲食関係者、村内宿泊事業関係者、山形村農村生活マイスター、山形村商工会役員・会員、山形村農村加工友の会、行政関係者、JA松本ハイランド山形支所、その他長芋料理に関心のある方で構成している。



【長芋料理研究会】

◆長芋の調理方法の研究並びに施策の実施及び新長芋料理レシピ集の製作

長芋料理研究会の会議を計6回開催し(内1回は事業報告会)、長芋の調理方法を研究し実際に試作等を行った。最終的には公募のレシピ2点含めた30品目を掲載した長芋料理レシピ集(A5版28頁)を5万部製作し、村内外の関係施設への配布、各種イベントでの配布、長芋発送時の同封等を行った。



【長芋料理レシピ集】

◆観光協会ホームページに長芋レシピ募集の告知及び完成後の長芋料理レシピ集を掲載(平成29年10月より公開中)

◆「やまっちそば」リーフレットの製作

平成23年に開発された山形村のご当地そば「やまっちそば」をPRするリーフレット(B4版三つ折りカラー)を5万部制作し、村内外の関係施設への配布、各種イベントでの配布等を行った。



【「やまっちそば」リーフレット、「やまっちそば提供店」銘板】

◆「やまっちそば提供店」の銘板製作

「やまっちそば提供店」の銘板を20枚製作し、提供店への設置を行い、提供店の自覚がさらに増すことと来店者増加を期待している。

◆広告代理店に委託してのプロモーション

・SBC信越放送(ラジオ)20秒間コマーシャル(9月~11月)、スタジオ出演(10月)

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- ・信濃毎日新聞の番組欄内に山形村道祖神と新そば祭り前々日、前日にカラー広告掲載
- ・サンケイリビング新聞多摩版(東京都、フリーペーパー)に記事掲載(2回)
- ・中央自動車道の駒ヶ岳SA、諏訪湖SA及び長野自動車道の姨捨SAのパンフレットラック利用(9月～11月)
- ・ニュースリリース(全国対象)



【長芋料理講習会】

◆長芋料理講習会の開催

長芋料理レシピ集の中から3～4点を実際に調理し、試食を行った。(場所：山形村いちいの里)

第1回講習会 2月18日開催 参加者18名

第2回講習会 2月25日開催 参加者13名

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①「とろろ」以外の食べ方があまり普及していない現状で、新たな調理方法を提案し周知することにより、新規顧客を掴み長芋の消費拡大に繋がった。特に新聞記事やテレビ番組内での紹介により、長芋料理レシピ集に対する問い合わせが今まで以上に増えた。

②「やまっちそば」はそばの上に長芋をつま切りにしたものをトッピングしており、麺と絡めて食べることにより「つる、シャキ」の食感を味わえることから、山形村のご当地そばとして人気であり、リピートして注文する方も多くなった。また、そば祭りで「やまっちそば」リーフレットと一緒に提供することにより、飲食店への誘客効果を高めることができた。

③長芋の生産から販売及び消費する関係団体が連携し、長芋料理を研究することにより、地域活性化への連帯感が生まれ、調理方法の提案を含めて山形村特産の長芋を消費者へ広報していく意識の共有が図れた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

◆長芋料理及び「やまっちそば」普及プロモーション事業

平成29年度は県内プロモーションが中心であった為、今後は首都圏を中心にプロモーションを行うことにより「信州山形村」の認知度を上げ、観光客増加を図る。

◆長芋料理レシピ研究事業

長芋料理研究会を継続することにより新しい長芋料理レシピの研究をするとともに、特産である長芋に対しての生産者・販売者等の意識共有を図っていき、さらなる連携強化を狙う。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【目標・ねらい】

- ①長芋の産地であることを村外へ発信し、知名度の向上
- ②村内での長芋の消費量が上がり、飲食店の活性化
- ③村内関係団体の連携強化

※自己評価【A】

【理由】

長芋料理レシピ集完成後の情報発信やそば祭り等において「やまっちそば」の提供と一緒にリーフレットの配布を行ったことにより、消費者からの関心の声や問い合わせが多く寄せられるようになり、予想以上の効果があったと考えられる。山形村産の長芋を今まで購入していた既存顧客からの問い合わせも多く、家庭で実践できる調理方法を広く提案できた。